



特集

— 地域を支える力～剣淵北斗会の現在と未来～ (活動編) —

広報7月号では剣淵北斗会の誕生について掲載しました

広報7月号では、剣淵北斗会の誕生秘話、福祉・介護事業の始まりについて掲載しました。

8月号では、剣淵北斗会が現在行っている活動や抱えている課題について取材をしましたので、掲載します。掲載するにあたり、平川総合施設長、法人事務局の清水施設長にお話を伺いました。



剣淵北斗会 総合施設長 平川 覚さん



剣淵北斗会 法人事務局 清水 俊之さん

剣淵北斗会が現在行っている活動について

剣淵北斗会が行っている活動について

活動について教えてください。

平川さん・広報7月号で掲載していた3施設(剣淵西原学園、剣淵北斗会、剣淵ひらなみ荘)の運営の他に、旭川市内に「旭川通動察さぼーと22」を1999年に設立しました。この施設は、高等養護学校の卒業生や一般就労を目指す障がいのある方々に対して、

2年間の中で生活面と仕事面の両面からきめ細やかなサポートを提供し、社会の中で自立していくことを目的として運営しています。

町内にも施設を運営

されていますか？

平川さん・町内に障がい者支援のグループホーム7か所を開設しています。

さらに、地域住民と障がいのある方々が日常的に交流できる場として「地域交流館とて」を開設しています。この施設は町の基幹相談支援センターとしての役割を持ち、剣淵町から委託を受けています。

他にも、作業活動を通じて社会参加を促す「ワークショップ風」を開設しています。令和2年より法人の事業再編に伴って「工房うつわや」の一部が統合となり、定員23人の事業所として活動しています。

作業を通じて地域に貢献していくことを念頭に日々頑張っています。

「地域に根ざした活動」について

地域で行っている活動はどのようなことをされていますか？

今抱える剣淵北斗会の課題

剣淵北斗会が抱えている

課題はありますか？

平川さん…課題として様々なことがありますが、①高齢者介護や障がい者福祉における労働者不足
②町内において高齢者介護の相談体制の確立などがあります。

労働者不足はどのように

対応していますか？

平川さん…各種専門学校や短大・大学、高校からの新卒採用、さらに外国人雇用も進め、現在では6名の外国人がひらなみ荘で働いています。法人全体で考えると、今は、一定程度の職員数を雇用できている状態ですが、これからも継続的に介護サービスを提供していくためには、さらなる人材の充実は不可欠です。新卒採用のみではなく、中途採用など雇用に関する情報をハローワークやSNS、ホームページを活用し、運営の安定化を図る努力をしています。

清水さん…剣淵北の杜舎では、「喫茶らくがき」の運営や野菜ジュースを製造し、道の駅での販売を行っています。

他にも町民卓球大会に参加し、スポーツを通じて町民の方との交流も行っています。



▲ふれあい広場での演技の様子

《参考》

「外国人雇用状況」

の届出状況(令和6年10月末現在)によると外国人労働者数は約230万人であり、過去最多となっています。

その内社会福祉・介護事業で働く外国人労働者数は85,537名の方が働いています。

高齢者介護での相談体制(入所及び利用方法)の確立について

相談体制の確立が課題とありましたが、実際にどのようなことが起きているのでしょうか？

平川さん…「名前は知っているけど、どんな施設？」「満室でなかなか入れないんでしょう？」「そんな声をいただいています。そのような現状のなか、介護に困っている方がいても、町内ではなく旭川など町外の介護施設へ相談されるケースがあるのかなと感じています。

北斗会では、「地域に根ざした福祉」を理念とし、常に開かれた施設であることを運営方針の一つに掲げ、様々なサービスの選択肢を用意しています。

清水さん…ご連絡いただければ、介護でお困りのことや入所についてのご相談、施設内の見学も可能です。短期入所やデイサービスを活用し、特別養護老人ホームで安心して充実した生活を送るお手伝いができればと考えています。

相談する場合はどこに連絡すると良いのでしょうか？

清水さん…障がい福祉サービスの相談は「地域交流館とて」が窓口となっております。介護サービスに関しては、剣淵ひらなみ荘や社会福祉協議会、地域包括センターでご相談いただけます。

あとがき

次回9月号では、剣淵北斗会のことからこの活動に対しての抱負や展望について紹介していきます。

ひらなみ荘で働くスレンさん、アルビさんに取材しました！



エム アルビ トリスマンダニさん
インドネシア出身 来日して3か月

■ひらなみ荘で働こうと思ったきっかけは？

A：実際に職場を見て働きたいと思いました。

■嬉しいこと・楽しいことや気をつけていること

A：利用者さんとコミュニケーションを取れるのが楽しいです。気をつけていることは、声かけの仕方やどこまで利用者さんを補助したら良いのかを常に気をつけています。



バイルマー アリオンスレンさん
モンゴル出身 来日して3か月

■ひらなみ荘で働こうと思ったきっかけは？

A：職場を見学する機会があったので、実際に見て働こうと思いました。

■嬉しいこと・楽しいことや気をつけていること

A：利用者さんに感謝されると、とても嬉しいです。気をつけていることは、声かけする際の言葉遣いや利用者さんの体調管理を特に気をつけています。